

テーマウエディングを成功させる 6つのポイント

point 3

花嫁の身につけるものと ブーケの色やテイストも同じに

ドレスとブーケのイメージを合わせるのももちろんですが、アクセサリーや髪飾りも含め、花嫁の装いは全身をトータルでコーディネートしましょう。ブーケとお揃いの髪飾りをつけたり、ブーケと同じ花をドレスにつけるのも素敵です。さらに、披露宴会場で持つブーケも、会場装花と同じテーマで揃えておくことより素敵ですね。



point 1

オーダーする前に ふたりのテーマを決めておく

打ち合わせに臨む前に、ふたりの職業、共通の趣味、出会ってからこれまでの思い出、一緒に旅行した場所などを書き出しておきます。そして、「ゴルフ」「南の島」など、結婚式のテーマとなりそうなキーワードをいくつか選んでおきましょう。*単なる好きなもの*よりも、ふたりが夢んできた、これまでの歴史に沿った言葉がおすすめです。

point 4

式場全体に共通の 花材やアイテムを取り入れる

右の写真のように、今回はメインテーブル、ゲストテーブル、チャペルのすべてに、同じピンクのバラがメインの丸いアレンジを飾り、チョコレート色のリボンを結びました。花の種類や色を揃え、リボンなどの共通アイテムを加えることで全体のイメージを統一したのです。リボンの素材や太さを変えても色が同じなら違和感はありません。



point 2

できるだけ具体的に イメージを伝える

「海」という言葉でも、素朴な浜辺を思い浮かべる人もいれば、高級リゾートを想像する人もいます。自分のイメージが相手にきちんと伝わるよう、打ち合わせの時は写真や雑誌の切り抜きなど資料を持参しましょう。KAORUKOさんは打ち合わせの場で写真のようなイラストをさっと描き、お互いのイメージに齟齬がないか確認します。



point 6

細かいところまで 配慮を怠らない

テーマパークなどでもそうですが、細部に凝っていればいるほど、ゲストはその雰囲気にとろけることができます。たとえば、レストルーム。片隅に会場と同じミニアレンジがちょこんとあるだけで、ゲストは夢から覚めることなく、*大人Cawaii*気分です。1日を過ごすことができるのです。控室の花や引き出物にも気を配って。



point 5

パーティを盛り上げる 花演出の花にも統一感を

結婚式の花演出も、最近はキャンドルサービス代わりのフラワーサービスや下の写真のブーケプルズなど、ゲストと新郎新婦と一緒に楽しめるものが増えています。ブーケプルズでは、ブーケから伸びるリボンのうち、本当に結んだ1本を引いた人にブーケをプレゼント。こうした際に使うブーケや花もイメージを揃えることを忘れないで。



Artist Profile

KAORUKO



ブライダルフラワープロデューサーとして、常に日本のウエディングシーンをリード。2万組の挙式を手掛けてきた実績に基づき、それぞれのカップルにしかできない個性的なテーマウエディングを提案しています。